

平成30年度 大分県立佐伯支援学校 教育課程について

教育課程編成の基本方針

学習指導要領及び関係法令等を踏まえ、本校の教育理念及び教育目標を達成するために、児童生徒の心身の発達、障がいの特性等や学校の実態等を十分に考慮し、適切な教育課程を編成する。

- (1) 児童生徒一人一人の障がいの状態が異なる中で、教育的ニーズに応じて教育内容を精選し、基礎・基本の徹底が図られるようにする。
- (2) 個別の指導計画に基づいておこなわれた学習の状況や結果を適切に評価し、指導の改善に努める。
- (3) 小学部・中学部・高等部の連続性及び関連性を考慮しながら、系統的で一貫した教育課程を編成する。
- (4) 児童生徒一人一人の実態に即した教育課程を作成する。
- (5) 児童生徒一人一人の実態に応じて教育課程編成の特例を活用し、弾力的に編成する。
- (6) 小学部は一単位時間を45分とし、中学部及び高等部については一単位時間を50分とする。
- (7) 道徳の時間の指導については、学校教育活動全体をとおして行うこととし、指導の重点を定め、指導内容を具体化し、体験的な活動を取り入れ、適切に指導を行う。
- (8) 自立活動の指導は、自立活動の時間を設定するとともに、学校の教育活動全体をとおして適切に行う。

1) 小学部教育課程の取扱い

- (1) 学習指導要領に示された各教科等の指導内容を児童の実態に応じて精選して扱う。
- (2) 各教科等を合わせた指導として、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習を児童の実態に即して取り入れる。
- (3) 特別の教科道徳の指導内容は、教育活動全般を通じて扱う。
- (4) 学級の種別（単一障がい学級、重複障がい学級）にかかわらず、児童の実態等に応じて適用する類型を決定する。

○小学部A課程…国語、算数、音楽、図画工作、体育を教科別に指導。生活科の指導内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱う。自立活動（時間による指導）を週あたり1単位時間設定。

○小学部B課程…音楽、図画工作、体育を教科別に指導。生活、国語、算数の指導内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱う。自立活動（時間による指導）を1日あたり1単位時間設定。

○小学部C課程…自立活動が指導の中心。音楽以外の教科の指導内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱う。また、内容の一部に替えて、自立活動を主として指導を行う。

2) 中学部教育課程の取扱い

- (1) 学習指導要領に示された各教科等の指導内容を生徒の実態に応じて精選して扱う。
- (2) 各教科等を合わせた指導として、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習を生徒の実態に即して取り入れる。
- (3) 道徳の指導内容は、教育活動全般を通じて扱う。
- (4) 総合的な学習の時間は、各教科などの学習内容との関連や本校の特色等を考慮して、特定の時期に集中して取り組むなど、一年間を見通して弾力的に授業時数を配当する。
- (5) 重複障がい学級に在籍する生徒については、実態等に応じて適用する類型を決定する。

○中学部B課程…国語、数学、音楽、美術、保健体育、職業・家庭を教科別に指導。社会、理科の指導内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱う。自立活動（時間による指導）を週あたり4単位時間設定。

○中学部C課程…音楽、美術、保健体育、職業・家庭を教科別に指導。国語、社会、数学、理科の指導内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱う。自立活動（時間による指導）を1日あたり2単位時間設定。

○中学部D課程…自立活動が指導の中心。音楽以外の教科の指導内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱う。また、内容の一部に替えて、自立活動を主として指導を行う。

3) 高等部教育課程の取扱い

- (1) 学習指導要領に示された各教科等の指導内容を生徒の実態に応じて精選して扱う。
- (2) 各教科等を合わせた指導として、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習を生徒の実態に即して取り入れる。
- (3) 道徳については、学校の教育活動全般を通じて行う。
- (4) 産業現場等における実習は、生徒の実態に応じて指導の形態を「作業学習」もしくは「自立活動」に位置付ける。
- (5) 総合的な学習の時間は、各教科などの内容との関連や本校の特色、行事などを生かして、特定の時期に集中して取り組むなど、一年間を見通し、弾力的に授業時数を配当する。
- (6) 生活教養科在籍する生徒については、実態等に応じて適用する類型を決定する。

○生活教養科A課程…音楽、美術、保健体育を教科別に指導。国語、社会、数学、理科、職業、家庭の指導内容は、各教科等を合わせた指導（日常生活の指導、生活単元学習、作業学習）の中で扱う。自立活動（時間による指導）を週あたり14.1単位時間設定。

○生活教養科B課程…自立活動（時間による指導は週あたり18.1単位時間）が指導の中心。音楽、美術以外の教科の指導内容は、各教科等を合わせた指導（日常生活の指導、生活単元学習）の中で扱う。また、内容の一部に替えて、自立活動を主として指導を行う。